



## 令和8年度「地域発 元気づくり支援金」(木曾地域)

### 16事業が内定しました

「地域発元気づくり支援金」交付要綱に基づき開催した木曾地域選定会議の意見を踏まえ、下記のとおり内定しました。

#### 1 事業区分別の選定状況

(単位：千円)

事業区分	選定状況		
	件数	支援額	事業例
1 地域協働の推進	2	2,157	木曾町まちづくり創造事業
2 保健、医療、福祉の充実	0	-	-
3 教育、文化の振興	3	4,701	木曾フィールドミュージアム 王滝村・長野県立大学包括連携事業「食文化継承事業」
4 安全・安心な地域づくり	1	2,291	木曾地域の新規会員確保及び担い手育成と射撃技術の向上
5 環境保全・景観形成	1	1,473	大桑村スポーツ公園におけるホテルを活用した魅力発信事業
6 産業振興、雇用拡大 (小計)	7	19,536	
(1) 特色ある観光地づくり	5	15,719	観光のチカラで木曾に元気と活力を 日本遺産を活用した木曾地域のストーリー発信事業 御嶽山国定公園指定記念「木曾おんたけネイチャーなぞときフェス」
(2) 農業の振興と農山村づくり	1	1,895	木曾町特産農産物生産基盤強化事業
(3) 森林づくりと林業の振興	1	1,922	木曾の森情報連携発信事業
(4) 商業の振興	0	-	-
(5) その他	0	-	-
7 市町村合併に伴う地域の連携の推進	0	-	-
8 その他地域の元気を生み出す地域づくり	2	4,458	木曾型ハイブリッド交流センター構築事業
合計	16	34,616	

#### 2 事業区分別の選定状況

(単位：千円)

申請者区分	件数	支援額	備考
町村	8	12,223	
広域連合	0	-	
公共的団体	8	22,393	地域づくり団体等
合計	16	34,616	

#### 【参考】

木曾地域の要望状況：12団体から16件(計35,481千円)の応募がありました。

(一部対象経費の査定後、全て採択)

確かな暮らしを守り、  
信州からゆたかな社会を創る

しあわせ信州創造プラン3.0  
~大変革への挑戦「ゆたかな社会」を実現するために~

[長野県総合5か年計画推進中]

(問合せ先)

長野県木曾地域振興局 企画振興・商工課

(担当) 田中、上沼

電話 0264-25-2212 (直通)

FAX 0264-23-2583

E-mail kisocho-kikaku@pref.nagano.lg.jp

令和8年度「地域発 元気づくり支援金」（木曽地域） 採択事業一覧表

No.	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	総事業費（千円）		支援金内定額 (千円)	新基準区分	重点支援対象事業区分
							うち支援金要望額			
1	地域協働の推進	ソフト	木曽町まちづくり創造事業	木曽町(企画財政課)	木曽町内の小学生向けに授業の一環としてレゴブロックを使って理想のまちを考えるワークショップを行う。子どもたちの思い描いたまちづくりは、ケーブルテレビ放映や地域文化祭展示等により地域に広く周知する。 将来的には地域がその理想の実現に取り組む姿勢をフィードバックすることで、地域への愛着形成を図り、次世代のまちづくりへの主体的な参画のきっかけを作る。  ①・②レゴワークショップ開催869千円	890	667	667	新基準B	
2	地域協働の推進	ソフト・ハード	森林軌道跡等を活用した観光地整備事業	木曽町(開田支所)	開田高原末川地区において、森林軌道敷跡等の地域資源を活用しつつ、点在する観光施設・飲食店等をつなぐ散策路や花見・紅葉狩りが楽しめる周辺の植栽を地域住民との協働で整備し、地域の魅力を高める。  ①桜・紅葉樹の植栽789千円、散策路整備424千円 ②散策路整備(案内板・クマ避け鐘設置)872千円	2,085	1,490	1,490	新基準B	
3	教育、文化の振興	ソフト	木曽フィールドミュージアム	木祖村教育委員会	郡内ミュージアムと共同で「木曽ミュージアム双六はんこラリー」を行い、合同テーマで企画展やクイズを開催することで相互に周遊を促す。村内では、お六櫛展の対話型鑑賞会やアーティスト・イン・レジデンスにおける演劇ワークショップ等を通じ、郷土の暮らしや文化を体感し、理解・関心を深める。 将来的には郡内各ミュージアムと連携しつつ、木曽の文化や歴史を他者へ発信できる住民(語り部サポーター)の仕組みづくりを目指す。  ①木曽ミュージアム双六はんこラリー実施136千円、木祖村アート・イン・レジデンス委託等1,617千円、オリジナル劇の創作・発表委託1881千円	3,673	2,874	2,694	新基準A・B	
4	教育、文化の振興	ソフト	つながるつなげる「木祖村ご当地ボードゲーム」制作事業	木祖村(産業観光課)	木祖村の魅力を共有・発信できるツールとして制作したご当地ボードゲームを活用し、地元住民による発信の担い手「キャラバン隊」が地域内実践を通じジビエブライドを醸成しつつ活動を拡大するとともに、木曽川流域の自治体や高校等との交流イベントを通じて新たな関係づくりを行う。  ①運営委託費(キャラバン隊育成・実践425千円、他地域交流イベント480千円、広報制作270千円)	1,175	940	940	新基準B	4・関係人口の創出拡大
5	教育、文化の振興	ソフト	王滝村・長野県立大学包括連携事業「食文化継承事業」	王滝村(総務課)	長野県立大学の食健康学科の教授・学生たちと地域住民が協働し、ひだみ(どんぐり)や笹巻といった郷土食の料理教室を行うとともに、次世代へ食文化を継承するための冊子や紹介動画を制作する。  ①参加学生等宿泊・交通費518千円、大学教授謝金184千円、レシピ集制作326千円、料理工程動画撮影・制作275千円	1,423	1,067	1,067	新基準B	
6	安全・安心な地域づくり	ソフト・ハード	木曽地域の新規会員確保及び担い手育成と射撃技術の向上―県産材を利用した木曽国際射撃場安全柵更新―	木曽猟友会	地域住民に向け、木曽国際射撃場で見学会(射撃デモやシューティング体験、ジビエ試食等)と参加型整備作業(安全柵更新)を行い、広く地域住民に猟友会の活動を知ってもらい、地域若年者の参画を狙う。整備作業では、新規会員とベテラン会員の交流も促しつつ、団体全体の組織力や射撃技術の向上を図る。  ①射撃場見学会42千円 ②射撃場整備(安全柵設置3,073千円、草刈り機318千円)	3,481	2,291	2,291	新基準A	
7	環境保全、景観形成	ソフト・ハード	大桑村スポーツ公園におけるホテルを活用した魅力発信事業	大桑村教育委員会	大桑村スポーツ公園で姿が戻りつつあるホテルを保全し村の新たな魅力としていくため、地域住民の参加を募り、ホテルの生息環境の整備活動や生態を学ぶ観察会を行う。また、同公園を会場にホテルまつりを開催して鑑賞機会を作るとともに、整備活動や観察会の映像をプロジェクションマッピングで投影し周知を図る。  ①観察会謝金等39千円、ホテルまつり備品等1,768千円、活動紹介映像制作99千円 ②プロジェクター機器一式280千円	2,186	1,616	1,473	新基準B	
8	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	御嶽山田の原誘客促進事業	王滝村(経済産業課)	田の原高原の魅力高め更なる観光誘客を図るため、住民協働による登山道整備や笹刈り作業を行う。参加ボランティアに対しては作業に合わせ、環境整備の意義や専門工法の効果を説明し、地域の観光資源への意識醸成を図る。  ②登山道改修委託2,996千円	2,996	1,997	1,997	従来基準	
9	特色ある観光地づくり	ソフト	観光のチカラで木曽に元気と活力を	木曽町商工会	台湾を中心とした冬期インバウンド観光客の確保と受け入れる地域住民のホスピタリティ醸成を目的として、観光シンポジウム(パネルディスカッション)を開催する。当日以降も広報紙配布やケーブルテレビ放映等でディスカッションの内容を地域住民に広く周知し、意識醸成を図る。  ①観光シンポジウム登壇者4名(旅費・宿泊費2,931千円※、謝金400千円)、広告宣伝410千円、会場使用料59千円 ※随行者4名含む	3,799	2,849	2,849	新基準A	
10	特色ある観光地づくり	ソフト	百草スイーツと摘み草文化の普及拡大を中心とした地域振興事業	百草スイーツ振興会	キハダの実を活用した新名物「百草スイーツ」について、郡内拡大に加え木曽への理解が深い郡外アンテナ店を開拓するとともに、スタンプラリーを開催し木曽地域の提供店や観光地への来訪・周遊を生み出す。また、ガストロミーイベントや野草フィールドワーク等を開催し、地元の野山で採れる食用植物に対する地域住民等の認知・関心を高める。  ①百草スイーツ取扱店拡大等1,049千円、郡内周遊スタンプラリー3,007千円、野草フィールドワーク等317千円	4,700	3,274	3,274	新基準A	

令和8年度「地域発 元気づくり支援金」（木曾地域） 採択事業一覧表

No.	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	総事業費（千円）		支援金内定額（千円）	新基準区分	重点支援対象事業区分
							うち支援金要望額			
11	特色ある観光地づくり	ソフト	日本遺産を活用した木曾地域のストーリー発信事業	木曾地域文化遺産活性化協議会	木曾地域における日本遺産ストーリーを地域ぐるみで活用し、国内・インバウンドの両面で観光周遊を促す。日本人向けには地域事業者と連携し、名古屋市地下街にて観光PRイベントを複数回開催する。インバウンド向けには中部国際空港での広告掲載や海外インフルエンサーの情報発信等を行うとともに、このなかで地域住民が海外向けに掲載・発信する内容を一緒に考え、木曾をセルフプロデュースする力を育む機会とする。 ①中京圏日本人向けPRイベント884千円、中京圏訪日外国人向け広告490千円、海外インフルエンサー情報発信2,500千円	4,030	2,905	2,905	新基準A	
12	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	御嶽山国定公園(仮称)指定記念「木曾おんたけナイチャーなぞときフェス」	公益財団法人名古屋市休暇村管理公社	御嶽山の国定公園化を交流人口拡大の好機とするため、御嶽山田の原高原をフィールドに自然と文化をテーマとした自然体験型の謎解きイベントを開催する。開催前に地域住民と謎解き問題を作成する研修会を行い、住民自身が魅力を再発見する機会とする。 ①イベント開催委託(企画運営3,401千円、広報1,503千円)、自然体験学習講師謝金・旅費259千円 ②活動備品(テント・テーブル)960千円	6,301	4,992	4,694	新基準A・B	4・関係人口の創出拡大
13	農業の振興と農山村づくり	ソフト	木曾町特産農産物生産基盤強化事業	木曾町(建設農林課)	遊休農地の増加や新規担い手の不足といった課題を解消し、農産特産品の生産基盤の強化を図るため、新規就農希望者向けに農業インターンシップを行う。合わせて都市部等で開催される就農相談会に地元農家と出展参加し、新規就農希望者との接点をつくる。企画・運営にあたり、地域のDMOや農家・農業法人の主体的な関わりを深め、来年度以降体験プログラムとして実装を目指す。 ①農業インターンシップ実施1,150千円、就農相談会出展318千円	2,370	1,895	1,895	新基準B	4・関係人口の創出拡大
14	森林づくりと林業の振興	ソフト	木曾の森情報連携発信事業	木曾谷流域森林整備推進協議会	木曾地域の森林・林業・木材産業に関する情報を、産学官の連携のもと、紙面やウェブ、対面イベント等マルチチャネルから一元的に発信する。地域住民等が木曾地域における森林・林業・木材産業の存在意義を再認識し、林業分野等への就学・就業や製品購入などの具体的なアクションを通じて、地域協働の森林づくりや地域材の利用拡大を担っていくことを目指す。 ①情報発信一式委託2563千円(広報誌掲載・ウェブ制作・SNS発信・ロゴ制作・映像制作)	2,563	1,922	1,922	新基準A	
15	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト・ハード	いつまでも住み続けられる魅力ある故郷づくりプロジェクト第3弾	与川地域づくり協議会	これまでに地域住民が自ら整備してきた環境や地域資源を活かし、子どもたちが地域の文化や魅力に触れる体験として、溪流釣りやきのこの収穫・料理教室などを行う。また地域外にも地域の魅力を発信していくため、散策マップの制作やその活用研修会を行う。 ①散策マップ制作45千円、活用研修会10千円 ②きのこと栽培(獣対策)129千円、環境整備(トイレ改修)1,221千円	1,405	940	940	従来基準	
16	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	木曾型ハイブリッド交流センター構築事業～デジタル交流×木曾ライフ探究ツアーで拓く、次世代の関係人口創出モデル～	きそびと会議	地域住民・地元高校生・郡外大学生を巻き込むためのデジタル交流拠点としてオンラインコミュニティを構築し、地元高校の探究授業と連携した地域交流や木曾の暮らしをテーマとした大学生向けフィールド活動等のプログラムを展開する。 ①ハイブリッド交流センター構築1,130千円、交流プログラム運営委託等3,573千円	4,942	3,762	3,518	新基準B	4・関係人口の創出拡大
木曾地域振興局 計					16 事業	48,019	35,481	34,616		

【再掲】重点支援対象事業

区分	件数	支援額
1.ユースセンターの設置や活動支援	0	0
2.女性リーダーの増加・定着	0	0
3.外国人県民の暮らしやすさ	0	0
4.関係人口の創出拡大	4	11,047
5.先端技術の活用	0	0
6.小さな拠点の形成	0	0
7.地域公共交通の維持・確保	0	0
8.コミュニティビジネス	0	0
9.地域の担い手の確保	0	0
10.ゼロカーボンの取組	0	0
計	0	0
合計	16	34,616